

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	221	学校名	仙台市立郡山中学校	校長名	八巻 竜一
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ「郡中生 脱コロナに向けた環境保全活動」



2 取組の紹介

(1) 校内美化活動

「学校愛護デー」という親しみのある名称で、校内一斉清掃を年に3回行っています。今年度も、美化委員が中心となり計画を立てて実施しました。コロナ対策として、マスク着用、清掃後の手洗いを徹底しながら、念入りに教室の床を磨き、仕上げにワックス掛けを行いました。また、毎週末に行っている教室内のロッカー清掃や黒板クリーナー清掃の「週末清掃」も例年同様実施することができ、校内の美化活動に取り組みました。

加えて12月には、2年生の発案で、校舎1階の外窓の掃除を実施しました。ワイパーや新聞紙を使用して、普段手の行き届かない箇所の清掃を行うことができました。

(2) 花壇の整備

年に2回、花の植え替え作業を行っています。今年度は春に花壇の土作りをし、チューリップの花植えを行い、秋にパンジーやビオラの花植えを行いました。7月には郡山遺跡の花壇にも花を植えるなど、地域の方と連携して活動しました。

(3) 生徒会活動

昨年に引き続き、地域の環境保全のために、学級委員と生徒会執行部員が中心となり、健全育成ボランティア「郡山中アルカス」を行いました。ゴミ拾いをしながら学校から長町駅まで移動し、犯罪の防止を呼び掛けました。

3 取組の成果 (生徒の変容)

近年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々な制限のある中での学校行事や諸活動が行われてきましたが、少しずつ元の生活を取り戻してきています。屋外活動の幅も広がり、生徒の環境保全に対する気持ちの高まりから、積極的に行動する姿が多く見られるようになりました。今後も環境の変化に柔軟に対応し、生徒と教員が一体となり、地域の方々からの協力を得ながら活動を継続させていきたいと思えます。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	222	学校名	仙台市立台原中学校	校長名	新妻 英敏
------	-----	-----	-----------	-----	-------



1 「地域に根差した環境活動を行うために ～今中学生ができること～」

2 取組の紹介

(1) リサイクル活動

① 整備委員会によるごみの分別の呼び掛けと古紙回収

各クラスにプラスチック用と普通ゴミ用の2種類のゴミ箱と古紙回収BOXを設置し、ゴミは分けて捨てるように各クラスでの呼び掛けを行いました。集まった古紙は委員会の際にまとめ、再生資源として業者の方に回収してもらいました。



② 新聞委員会による古新聞回収

毎日のNIE活動で使用した各クラスの古新聞を、新聞委員が再生資源として委員会の際に回収し、まとめました。まとめた新聞は、古紙と同様、業者に回収してもらいました。



(2) 環境整備活動

① 地域の環境浄化活動

環境浄化活動は、地域の方々と接しながら、自分たちが住む環境の整備に携われる活動で、今年度は11月11日に実施しました。中学校区内の清掃活動を行いました。



② 緑化委員会による花壇作り

今年度も春と秋に昇降口前にある花壇に花の苗を植え、年間を通して花を育てる活動を行いました。緑化委員が水やりや雑草取りなどの作業に責任を持って取り組み、きれいな花壇の維持に心掛けました。



3 取組の成果

(1) 日々の生活の中でゴミの分別をする習慣ができ、生徒がリサイクル活動に自然に参加することができました。特に、使用済みのプリント類や紙ゴミを回収して再生資源にすることで、普通ゴミの量が減り、目に見えるリサイクル活動として成果が見られました。

(2) 地域の環境浄化活動について、清掃後に地域の方々から感謝の言葉をいただきました。コロナ禍で中学生が地域の一員として活躍できる機会が減少している昨今、地域の様々な状況に目を向けてほしいと考えておりましたが、今年は2年ぶりに浄化活動を実施することができました。そこで、清掃が行き届いている場所とそうでない場所について知ることができました。

今後も、自分たちの住む町への意識を高め、必要と感ずることに進んで取り組む生徒であってほしいと考えています。

昇降口前の花壇についても、委員会の生徒が、熱心に花植え作業を行いました。多くの生徒が四季の変化を感じ、環境についての意識を高めることができました。定期的に生徒がSDGsについて知る機会を増やし、台中生として何ができるのかを考え、取り組めるようにしていきたいと思ひます。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	223	学校名	仙台市立北仙台中学校	校長名	堀部 登美子
------	-----	-----	------------	-----	--------

1 「杜の都のエコ・スクール～SDGs（持続可能な開発目標）を視野に入れた取組」

2 取組の紹介

(1) 環境問題への意識を高める取組 【授業資料】

① 授業実践

特別支援学級において、SDGsを教材として取り上げました。ICTを活用し、いろいろな目標に対する企業の実践に触れることで、日本でも取組が行われていることを学びました。また、SDGsの「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界の皆で2030年までに解決していこう」という17の計画・目標の中から、自分の生活の中で、自分が一番気になっている事柄を取り上げて、その想いを「未来を良くするためのSDGs川柳」考える取組を行いました。この実践は、生徒自身が未来を良くして持続可能な社会をつくるため、私たちが大切にすべきことは何かを個々が考える場面を持つことが、単なる知識としてではなく、これからの生活で、自分がどのように関わられるかを意識して考えることができる機会になるようにと設定しました。今後も他の授業でも教材をSDGsに関連させて自らの意見を述べる機会を設定し、身近なものとして生徒の中にSDGsが浸透するようにしていきたいと思えます。



② 身近な活動実践～大切に使い続けるための姿勢と環境整備意識を高める取組～

i) 環境整備の取組

SDGsの12番目の目標に関連する環境や備品の整備と点検を環境美化委員会が中心となり、各清掃分担区で実施。

ii) 長期休業前大掃除

掃除項目チェックリストを基に計画を立て、教室を整備する。各学級で実施。

長期休業前大掃除について

長期休業前「清掃チェック表」を各学級に配布いたします。12月2日（水）～12月22日（水）までの間行なわれますが、長期休業前大掃除を早急全員で終わらせていただきます。

長期休業前掃除重点箇所 年 組

清掃箇所	実施内容	予定日	実施日	確認
1 教室・廊下・階段	ていねいに掃除し、拭く			
2 窓	タワシーターで拭く・清掃機			
3 運動器具	から拭き・点検			
4 運動服・タオル等	洗濯・スポンジを洗って干す			
5 給水口	清掃機・タオルで拭き取り			
6 ゴミ箱	中を洗い			
7 廊下のロッカー	掃除機で拭き			

をがき 黒板消し(クリーナー)清掃 清掃用具配布数

清掃場所	
担当クラス	
担当者	
自在ぼうき	
ちりとり	
小ぼうき	
バケツ	
毛かき	

整理整頓!

3 取組の成果

「SDGs」はここ数年で身近なものになりつつあります。生活の一部として、その目標や取組が特別なことではなく、これまでの考え方や活動とながっていることに気付かせて「自分事」としていくことが、大切であると今回の取組で再認識できました。今後もSDGsの「自分ごと化」に向けて、さらに、様々な場面での17の目標の意識化や身近な行動(Do)の実現へとつなげられるような取組を考えていきたいと思えます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	224	学校名	仙台市立鶴谷中学校	校長名	菅野 勝紀
------	-----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「全校で取り組む SDGs」



- 2 取組の紹介

- ① つるがやクリーンプロジェクト (SDGs 目標 1 1)

生徒会主導で毎年11月に実施している地域の清掃活動です。



全校生徒で学校周辺の歩道や商業施設周辺のゴミ拾いや落ち葉拾いを行いました。近隣の小学校とも連携しながら行っています。

- ② ボトルキャップ回収 (SDGs 目標 1, 12)

生徒会主導で行っている活動です。

ペットボトルキャップを再資源化することで、発展途上国にワクチンを届けるという取り組みに賛同し、実施しています。



- ③ ユニセフ募金 (SDGs 目標 1)

ボランティア委員会の活動の一環で行なっている募金活動です。今年度は2回実施し、たくさんの生徒が協力しました。

- ④ 古紙回収 (SDGs 目標 12)

ボランティア委員主導で各クラスに古紙回収ボックスを設置し、古紙回収を行っています。また、プラスチックごみの分別回収も各クラスで行なっています。例年行っている活動のため、生徒にも浸透しています。

- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

生徒会や専門委員会主導で、これまで継続してきた活動に加え、ボトルキャップ回収やユニセフ募金という新たな活動を取り入れて全校生徒で様々な活動に取り組んでいます。特に地域清掃は、自分たちの生活する地域の環境美化や環境問題への関心が高まりました。

SDGs という言葉は浸透しつつありますが、SDGs の目標と関連する活動には、どのような活動があるのかが分からないという生徒も多くいるように感じます。今後も活動を継続しながら、自分たちが取り組める身近な SDGs に関わる活動に生徒自身で気づき、行動に移していけるように学校全体で取り組んでいきたいです。

令和4年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	225	学校名	仙台市立八木山中学校	校長名	布施 辰哉
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ 生徒会によるエコ・スクール活動

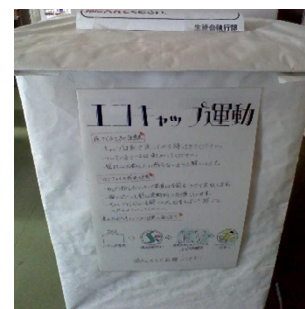


2 取組の紹介

○生徒会執行部

・エコ・キャップ運動

ペットボトルキャップの回収ボックスを作製し、各学年のフロアに1か所設置しました。ボックス内に集められたキャップは、手袋等で感染対策をしながら執行部が月に一度回収します。ボランティア委員会と協力し合い、ポスターの掲示や各学級の声掛けにより各家庭から多くの理解を得られ、合計 25.7kg ものペットボトルキャップが回収されました。回収したペットボトルキャップは株式会社サイコー様を經由し、発展途上国の子どもたちへワクチンとして届けられます。



ペットボトルキャップ
回収ボックス

○ボランティア委員会

・各教室へ古紙回収ボックスの設置

各教室に古紙回収 Box を設置し、プリントの残部等再利用できる紙を回収しました。ボランティア委員会が一週間に一度、各教室の回収ボックスを持ち寄って古紙の仕分け作業を行います。集められた古紙はサイズや色、個人情報が含まれているものなどを確認しながら分別しました。



古紙回収ボックス

○地区生徒会

・地域清掃ボランティア

年1～2回の清掃ボランティアを実施しています。各地区担当の保護者の皆様に御協力いただきながら行っています。ゴミや落ち葉拾いを中心に地域の清掃を行いました。



地域清掃の様子

3 取組の成果（生徒の変容）

エコ・キャップ運動や古紙回収では、身の回りの使わないものをそのまま捨てずに資源として再利用することで、社会に貢献しようとする姿勢が見られました。特定の生徒だけでなく、執行部や委員による周囲への呼び掛けによって、多くの生徒がペットボトルキャップや古紙の回収などに積極的に参加しました。上記の活動をとおして、生徒のエコロジーに対する意識が高まったと考えられます。今後も呼び掛けを継続し、より多くの生徒が参加する活動にしたいと思います。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	226	学校名	仙台市立中山中学校	校長名	白石 和也
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ
持続可能な社会をつくる担い手の育成を目指したエコ・スクール活動

2 取組の紹介

(1) 専門委員会による取組

①奉仕委員会

- 教室内にボックスを設置し、委員会で古紙の分別・回収を行い、リサイクルへの意識を高めることができた。
- 毎週金曜日に朝清掃を実施している。学校周辺のゴミや落ち葉拾いなどの活動を行うことで環境美化に努めている。

②整美委員会

- 清掃強化期間を設定し、積極的に呼び掛けを行うことで、校内美化活動を行っている。



<リサイクルBOX>



(2) 小中連携、地域での取組

11月16日に、PTA環境委員の方や、社会福祉協議会、市民センターや地域の方々に御協力いただき、中山小学校の6年生と共に地域清掃を行った。自分たちが住む地域の施設や公園及びその周辺の歩道のゴミ拾いや落ち葉を集める作業を行い、地域との関係を深める貴重な活動となった。

(3) PTAとの連携による取組

PTA環境委員の方と生徒会奉仕委員の生徒と合同で、春と秋に正門前の花壇に苗を植える活動を行っている。今年は、10月の苗植えのみの活動となったが、PTAの方に声を掛けていただき、和やかな雰囲気の中で作業が進められた。とてもきれいに花壇が整備された。



(4) 学年の取組

2学年の総合的な学習の時間において、野外活動の事前学習として「バイオマス」について学んだ。修学旅行の事前学習として「飢餓」についての学習を行った。現地です実際に活動する前に事前に理解を深めていくことで生徒たちは、SDGsについて興味・関心を持ち、現地での活動や講話による学びを深めることができた。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

学校や地域の清掃及び美化活動を通して、環境整美の大切さを感じることができた。特に、小中連携による清掃活動は、地域の一員としての自覚と責任も高まった。それぞれの活動を「SDGs」と関連付け、学びのゴール (何ができるようになるか、何につながるか) を意識させることで、生徒の意欲や自主性の向上に効果があったと感じている。地域の活動から学ぶことが、将来、地域や社会に貢献し、その担い手となる生徒の育成に結び付いていくと実感している。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	227	学校名	仙台市立山田中学校	校長名	阿久津 裕美
------	-----	-----	-----------	-----	--------

- 1 取組のタイトル, テーマ
持続可能な社会をつくるために, 自ら学び行動する生徒の育成



2 取組の紹介

1) 3学年による「SDGs 調べ学習」

3学年の生徒が行いました。生活班など4人程度でグループを作り, 1つの目標についてChromebookや資料集を使用し, まとめ, 発表会を行いました。

発表する際は, スライドで発表したり, 演劇をしたりするなど各グループが工夫を凝らしました。

熱帯病や環境が原因で起こる感染症 (3-3)

世界には17の顧みられない熱帯病がある。

途上国では干ばつや砂漠化の影響により汚れた水を飲んでいるところがあります。

予防するには...

石鹸で手を洗うだけで, 死亡率は4.4%も改善できる。

予防

- ・熱帯や亜熱帯に観光するときはワクチンなどを打つ
- ・飲水や食べ物に気をつける など

2) 整美委員による「古紙回収」

整美委員会が行いました。各学級で出た古紙を回収ボックスに集めておきます。月1回開催される委員会活動で仕分けし, 適切に処理しています。

再利用できるものに関しては, 積極的に再利用をしています。

3) 給食委員による「残食0運動」

給食委員会が中心に行いました。給食の時間に, 残食0を目指して, 各学級で声掛けを行いました。

食材や作ってくださる方々に感謝の気持ちを忘れずこれからも学校生活を送っていきます。



4) 全校生徒による「除草作業」

本校では全校生徒・保護者の方々とグラウンドの除草作業を行います。本校では「スポレク(玉入れ・対抗リレー・綱引きなどを行う学級対抗のレクリエーション)」と呼ばれる学校行事が盛んです。スポレクの前日に全校生徒で除草作業を行いました。除草剤などの農薬を使わずに手作業で行うことにより, 環境に優しく除草することができます。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

SDGs 学習などをおして改めて, 地球環境を皆で守っていくことの大切さを感じることができました。上記の活動をおして, 「誰かがやってくれるのではなく, 自分ができることを行っていく」意識が強まってきていると感じます。

今後も山田中学校すべての生徒が, 持続可能な社会を実現するために生徒と教員が一体となり, 「杜の都のエコ・スクール活動」に取り組んでいきたいと思ひます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	228	学校名	仙台市立蒲町中学校	校長名	又木 潤
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル

「地域との関わりを進め、SDGsへの理解を深める」

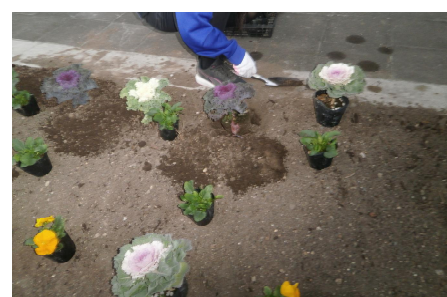


2 取組の紹介

① 今年度もアルカス委員を中心にボランティアを募り、春と秋に花植えを行いました。植え方については生徒たちに考え、すてきな配色で花壇が彩られました。また、今年度は、特別支援学級の生徒たちが協力し、それぞれの花壇ごとに看板を作り、昨年度よりも色鮮やかな花壇となりました。

② 仙台市で開催されている「第57回仙台市緑と花いっぱい花壇コンクール」に応募をしました。このコンクールでは、仙台市の地域や学校で育てている花壇について、実際に現地で花壇を見て審査し、生育や土壌についてアドバイスをいただいたり、副賞などをいただけたりするということでした。私たちの学校では、この「学校の部」に参加し、参加賞ということでチューリップの球根を90球と、花の配置の工夫や土壌環境に関してアドバイスをいただきました。いただいた球根は、秋の花植えの際に一緒に植えさせていただきました。

今回のコンクールに参加したことで、様々な団体が緑化活動で工夫や努力をしていることが分かりました。また、花の生育方法などについてアドバイスをいただき大変勉強になりました。来年度からは、より多くの生徒や地域の方と関わられるような花壇になるにはどうしたらよいか、また今後、どのような工夫をしていくことで緑化活動が発展していくのかなどについてボランティアの生徒たちと考えていきたいと思えます。



3 取組の成果（生徒の変容）

春と秋に行っている、アルカス委員を中心とした花植えのボランティアに参加する生徒が昨年と比べると少しずつ1、2年生を中心に増えたことから、ボランティアに対する関心が更に高まっているように感じています。

SDGsの学習については、アイコンを見たことのある生徒は多かったのですが、内容や具体的な活動に関して理解がまだまだ十分だとはいえない状況であると感じます。一方で2学年では、各学級でのSDGsの取組内容を掲示して、関心を高めていこうという取組が見られました。前述の緑化活動のみならず他の領域とも連携して学習内容を工夫することにより、SDGsについての認識や理解が更に広まるように、今後も活動を継続していきたいと考えています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	229	学校名	仙台市立桜丘中学校	校長名	國分 晋一
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「桜丘地区の美化を, 中学生から行っていこう！」



2 取組の紹介

① ハートフル4th

この活動は, 中山・桜丘地区にある5つの小中学校が連携して行っています。具体的には, 落ち葉掃きやあいさつ運動などがあります。1か月に1回行っており, あいさつ運動や美化活動は部活動ごと, 分担をローテーションしながら行っています。



② 桜ヶ丘地区花火大会後のゴミ拾い

今年, コロナ禍ではありましたが, 桜丘小学校校庭を会場に, 桜ヶ丘地区夏祭りが3年ぶりに行われました。その翌日の朝, 桜丘中学校の有志と地域の皆さんで, 花火の破片を拾う活動を行いました。思った以上に広範囲に飛び散っていて大変でしたが, 多くの方々の御協力により, ほとんどの破片を拾うことができました。



③ 桜ヶ丘地区清掃

11月には, PTAの方と協力して学区の中の自分の所属する地域の清掃活動を行っています。1時間程度ではありますが, どの地区も持参したたくさんのゴミ袋がいっぱいになるほど落ち葉を拾ったり, 隅々までごみを探したりと, 桜ヶ丘地区がきれいになるよう頑張っています。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

①のハートフル4th, ③の地区清掃は全員が参加する取組です。そのような活動を積極的に行ってきたこともあり, 有志のゴミ拾い活動にも多くの生徒が参加できました。また, このような美化活動などをきっかけにSDGsに興味を持つ生徒も現れ, 1年生では学年委員を中心に, SDGsの意識調査を行ったり, NIE(新聞を教材として活用する活動)で, SDGsに関することを学んだりしています。今後も身近な美化活動をきっかけに, エコについて考えていきたいと思えます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	230	学校名	仙台市立中野中学校	校長名	遠藤 晋
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のテーマ 「身近にできる環境活動」



2 取組の紹介

今年度は、2つの活動に取り組みました。1つは、9月に行った「地域貢献デー」、もう1つは、11月に行った「落ち葉拾い」です。中学生が身近な地域に対して貢献できることは何かを考え、取り組みました。

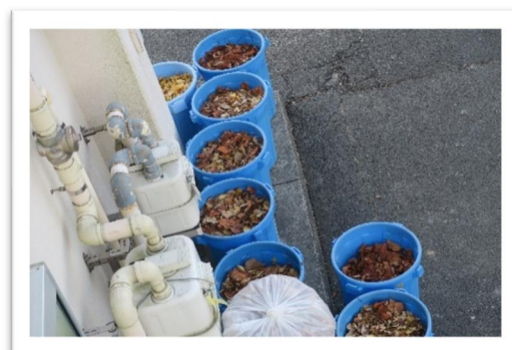
■「地域貢献デー」

全校生徒で4つに役割分担をし、実施しました。地域清掃班、プランター作成班、ドリームレター班、シトラスリボン班の4つに分かれ、登校時には全員がゴミを拾いながら登校するという取組も行いました。地域の方と触れ合いをおして思いやりの心を育てるとともに、自分たちの住んでいる地域について理解を深めることができました。



■落ち葉拾い

落ち葉による転倒事故を防ぐため、有志を募って落ち葉拾いの活動を行いました。実際に拾ってみると改めて落ち葉の多さに気付きました。一方で学校周辺は木々が多く、自然豊かな場所であることを再認識しました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度はできなかった、地域と連携した活動をすることができました。上記の活動をおして、大きく2つの成果ができました。1つは、環境問題への意識の向上、2つ目が地域の一員としての自覚です。実際に地域を歩いてゴミを拾い集めることで、普段何気なく通っている道にもたくさんのゴミが落ちていることに気付きました。より良い街づくりの1つとして、環境美化の必要性を感じ取れたと思います。また、地域の方々と交流し、協力して活動することで地域に住む中学生の立場で何ができるのか考える良い機会になったと思います。